

ごみ処理

被災状況は？

巨名組合の所管するごみ処理施設は、名取クリーンセンター、岩沼清掃センター、巨理清掃センター、岩沼一般廃棄物最終処分場および巨理一般廃棄物最終処分場の5施設になります。

名取クリーンセンターは、震災により煙突外部の一部剥離、施設の建屋部分の壁の脱落、敷地内の路盤に亀裂が入るなどの被害がありました。早急に修繕し、運転を再開しました。

岩沼清掃センターは、地

災害廃棄物と一般廃棄物（家庭系ごみ）の処理は？

災害廃棄物は、原則それぞれの市や町が処理します。今回は、家庭から排出されるごみのほか、避難所からのごみも膨大な量になりました。名取クリーンセンターは再稼働し、焼却を行っています。1日で処理できる量にも限界があるため、それぞれの最終処分場に一時仮置きを余儀なくされま

震による被害はありませんでした。

巨理清掃センターは、地震と津波により甚大な被害を受けました。焼却施設のほか資源ごみ処理施設も全て使用できない状況です。

また、巨理町・山元町の地域を担当していた収集運搬の委託業者所有の収集車両と収集用コンテナのほとんどが流出し、業務に大きな支障が生じました。

ごみの収集等を行っている各清掃公社の職員を含め、施設の維持管理に携わっている方々の人的被害はありませんでした。

した。仮置き量も合計で約3500トになりました。

現在は、仙台市に1週間で約250トの可燃ごみの焼却処分をお願いしています。また、仙南広域組合の大河原衛生センターと角田衛生センターに1日当たり合わせて約70トの処理をお願いしています。

今後、巨理清掃センターが復旧するまでの間、継続した処理をお願いすることになります。

施設復旧への対応と今後の処理体制は？

巨理清掃センターの復旧には、相当の期間と経費を要します。概算復旧費用は最大で約20億円と試算されました。巨名組合の議会へ補正予算を計上し、一刻も早い復旧に向けた取り組みを行うこととしています。

震災直後は、停電などで各施設とも運転できなかったため、通常の処理・処分ができず、市民生活に大きな支障を来しました。

資源物回収用のコンテナが流出し、資源ごみ（リサイクルごみ）もすぐには対応できませんでした。また、有害・危険物も運搬ルートを確認できませんでした。

その後、家庭ごみは、収集体制を整えながら「ごみ

収集カレンダー」通りの業務を行い、現在は有害・危険物もコンテナを使用した通常の回収を行っています。

ごみの出し方については、震災後施設の受け入れが完璧な状態とはいえないため、特に左記の三つの点に留意されるようご協力をお願いいたします。

ごみの出し方については、震災後施設の受け入れが完璧な状態とはいえないため、特に左記の三つの点に留意されるようご協力をお願いいたします。

ごみの分別と減量化に向けた「お願い」

◎指定袋へ

燃えるごみは、リサイクルができないものに限定して指定袋に入れてください。

◎分別を

紙類、発泡スチロールなどのトレイは、リサイクルできる資源ごみです。分別してください。

◎減量化へ

買い物をするとき、容器の少ないものを選び、ごみの減量化をお願いします。



巨理清掃センター南側の状況